

あんどう志保

「これまでやってきたこと」

出産を機に、環境問題に関心を持つようになり、1998年、「**環境、平和、命**」を活動テーマとする市民グループ「ネットワーク『みどりのはらっぱ』(当時は「みはら『地球村』)」を立ち上げる。

紫外線の影響が、特に子どもにとって危険であることが分かり、政府が「紫外線保健指導マニュアル」を発行、他自治体で「たれつき帽子」など対策が進む中、三原市の取組みが遅れていることに対して、2001年、**1016人の署名を集め、三原市教育委員会に要望書**を提出。2003年、イラク戦争に反対し、広島県内80市町村議会に、「政府に『**イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書**』の提出を求める陳情」を行った。地方選挙・国政選挙で候補者への公開アンケートを実施、2004年の参議院議員選挙では公開アンケートプロジェクト全国展開のリーダーとして、回答率84%を得た。2004年より、三原やっさ祭り実行委員会のメンバーとして、ごみ削減事業「**ゴミへらし隊 エコレンジャー委員会**」を発足、現在も継続中。2009年、三原市の財政状況を市民目線で分析する「三原のおサイフを知る会」を発足。2012年、広島市で「みんなのエネルギー・環境会議 広島」を主催。「**脱原発**」「**脱温暖化**」「**食とエネルギーの自給**」「**地域活性化**」の同時達成を目指す広島県内のネットワーク組織「広島連塾 Sus☆テラス」を立ち上げ、代表となる。

あんどう志保さんを応援します！

私は、三原が好きです。何もない町だ、活気がない、なんていう人も多いけれど、これからみんなでいろいろなことが出来るし、元気がでるようなこともいくらだってできる！すごく、可能性のある町だと思います。自然に恵まれ、天候に恵まれ、そして人と人の顔が見える大きさのまち、三原。住みよい町づくりをしようと思ったら、市民の声や動きが届きやすい、いい感じの町と思います。

あんどう志保さんとは、15年前の環境問題の講演会で知り合いました。それ以降、ずーっと志保さんの活動を見てきました。若いお母さんたちと環境のことを学習したり、やっさ祭りのごみの分別をしたり、議会の傍聴を続けたり、全国各地に、行政の財政問題、ごみ問題、エネルギー問題などの勉強に行ったりする地道な活動や勉強ぶりに、頭の下がる思いでした。今回、市政へのチャレンジを聞いて、やっと今までの蓄積を出してもらえる時が来た嬉しく思います。また、長年の市民活動のネットワークを生かしてたくさんの人の声や思いを市政に届けてくれることでしょうか。みなさん、一緒に志保さんとともに三原の明日を考えていきませんか。

高坂町・農業 坂本圭子

<信条>

- ◇ 組織や団体にしばられず、自分で考え行動すること
- ◇ 市民の目線で、税金の使い方をチェックすること
- ◇ 将来にツケをまわさない「未来への責任」を持つこと
- ◇ 課題の解決とともに、問題の予防に力を注ぐこと
- ◇ 批判するだけでなく、具体的な政策を提案すること

◆会員募集中！！◆

あんどう志保は、大好きな三原のまちを大切にすることを通して、地球規模の環境問題の解決、世界平和の実現を目指しています。一緒に活動して下さる方、支えてくださる方を募集しています。

あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会

〒723-0002 三原市中之町南 1402-66

Email: andoshiho@gmail.com

FAX: 0848-67-1779, TEL: 090-5265-3855

ゆうちょ口座: 15100-29065961

★カンパ大歓迎★

※個人としてお願い致します※